

4年ぶりの敬老会

市内の100歳以上の高齢者は50人でその9割は女性
 最高齢者は106歳です。(令和5年9月1日現在)

今まで各地域で行われてきた敬老会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、3年間は実施ができませんでした。一部地域では4年ぶりに敬老会が開催されました。

高齢者のみなさんは、これからも益々お元気に過ごされるようお祈りいたします。



国府小学校会場



広谷保育所会場



9月議会

令和4年度府中市一般会計歳入歳出決算認定等を可決!

9月定例会は9月4日(月)から9月22日(金)まで19日間開き、議案21件、報告4件、意見書1件 審議、議決しました。

主な審議

- 地方独立行政法人府中市病院機構第4期中期目標を定めることについて **原案可決**
- 府中市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について **原案可決**
 市役所窓口設置の端末で、マイナンバーカードを利用して印鑑登録証明書等の申請を可能とする。
- 府中市文化財保護条例の一部改正について **原案可決**
 翁座及び恋しきを歴史的・文化的価値を損なうことなく改修等を行い、良好な状態で保存できる。
- 令和4年度 府中市一般会計歳入歳出決算認定について **認定**
 歳入総額227億4261万7506円と歳出総額218億2814万6292円、収支額9億1447万1214円の黒字
- 令和5年度 府中市一般会計補正予算(第5号)について **原案可決**
 歳入歳出額に4億3163万3千円を追加し、歳入歳出242億4758万円とする。
 省エネ家電買替支援事業や公共施設維持整備基金積立・災害復旧事業など

議員提出意見書案

- さらなる少人数学級の実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について **原案可決**

一般質問



9月7日、8日 14人の議員が
市政を問う！



創生会
福田 勉

容器包装プラスチック ごみ収集回数



You Tube

Q 容器包装プラスチックごみ収集回数を月2回から週1回に変更できないか伺う。

A これまで議会や市民からの直接の声として、容器包装プラスチックごみの収集回数を増やすといった御意見を多くいただいている。府中市と収集事業者、双方で素案を整理し、令和6年4月から、容器包装プラスチックごみの収集回数を週1回に変更する。



創生会
真田 光夫

市制70周年記念事業



Q 70周年記念事業は、府中市としてどのようにしたいのか。その計画内容や進捗状況を伺う。

A 市制70周年記念事業は、一過性のイベントではなく、未来への発展を目指して様々な取り組みを行う考えがある。6月には庁内プロジェクトチームを立ち上げており、今後、市民や企業からの提案を募る。来年3月20日には記念式典を開催する計画であるが、その他の事業も年内に選定し、市民の皆様幅広くお知らせする予定である。



創生会
岩室 雄大

ALT (外国語指導助手)



Q ALTの生活、仕事環境、ウェルビーイング*について伺う。

A 教育委員会として、ウェルビーイングの向上に取り組むことは非常に重要であるというふうな受け止めをしている。

ALTをチーム学校の一員として受け入れ、日常的に児童生徒とコミュニケーションを図ることで、外国語教育を中核としたグローバルな学校経営、学校教育活動、そして地域連携を実現させたいと考えている。

*幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態



創生会
安友 正章

持続可能な農業



Q 官民連携による府中市独自の地域商社を設立することで農業支援を考えてはどうか。

A マーケティングなどを担う専門人材の確保、消費者と生産者のマッチング等の機能を持った地域商社の創出は必要であると思うが、行政だけでは困難である。今後は、JA広島や、そのほか民間企業、銀行などと協力し、実現の可能性を探り、地域商社の機能の創出に向けて取り組みたい。



創生会
本谷 宏行

南北道路沿線の 産業振興



Q 市内企業流出による経済力の低下への対策や生産活動ができる基盤の確保について市長の考えを伺う。

A 府中市及び産業界の悲願である南北道路が令和9年度に全線開通を迎える予定である。今後10年を見据えて、今が正念場と捉えており、企業の流出防止、新規企業の誘致を行うため、用途地域の変更などの土地利用規制の緩和や、道路整備、また魅力的なインセンティブを打ち出すなど、様々な施策展開に覚悟をもって臨んでいきたい。



新しい風
田邊 稔

チャットGPTの導入



Q 府中市は、業務効率化につながるチャットGPT*導入を検討しないのか伺う。

A チャットGPTが行政職員の作業効率に貢献するレベルは限定的ではないかと考えており、現時点では導入について検討していない。職員が簡潔でわかりやすく伝わるような文書を書く、つまり行政文書作成能力を鍛えることで組織全体の生産性向上が生まれると考えている。ただ、国の動きや他の自治体での成果事例に関しては積極的に勉強させていただきたい。

*人工知能(AI)を使ったオンライン上のおしゃべりや雑談のサービスです。人間の質問に対して、まるで人間のように自然でクオリティの高い回答をします。



新しい風
森川 稔

市道の草刈り報償費



Q 町内会が行う市道の草刈り等の活動に報償費が支給されるが、年々減少傾向にある。明確な算定基準により、支給額を決めていただきたい。

A 町内会は市道の清掃、草刈り、通行に支障のある木の除去、道路側溝清掃など、道路状況を維持していくための活動を行っている。今年度、人数、作業時間など作業の実態調査を行い、わかりやすい報償費の基準となるよう進めていく。



公明党
加島 広宣

熱中症対策



Q 熱中症予防として、公共施設の活用や民間企業などの協力を得て、クーリングシエルター(冷房の効いた施設)を市内に設置してはどうか伺う。

A 現時点では、設置や指定を行っていない。暑さをしのぐためなど、涼しい場所の提供として効率的に行えると考えている。今後、公共施設や商業施設等の民間施設にも協力を要請しながらクーリングシエルターの取り組みを進めて参りたい。



公明党
おおもと ちか子
大本千香子

小児科医療の充実



Q 備後圏域で分娩できる医療機関の減少が続いている。「子育てするなら府中市で」を標榜されているなら、市民病院での分娩再開、小児科の拡充を戦略的に取り組まれるべきではないか。

A 市長就任以来、県や大学医局、関連機関等に、医師の確保、助産師の確保に奔走してきたが、実現には至っていない。医療機関を広域での集約拠点化が進む中、より厳しい状況下となっているが、引き続き安心な出産と子育て環境の確保に取り組みたい。



市民クラブ
しばうち のりあき
芝内 則明

火災情報



Q 福山市では、4月1日から福山市公式LINEで火災情報を配信している。府中市でも、府中市公式LINEや府中市メール配信サービスがあり、配信が可能ではないか。

A 府中市メール配信サービス（防災メール）で、11月上旬を目途に準備を進めている。市民への周知は、広報・ホームページ・マイ府中等でお知らせする予定にしている。また、登録手順がわからない場合は、担当課で対応していく。



市民クラブ
もとし しろうき
土井 基司

東京都府中市とのスポーツ交流



Q 2024年3月31日にわが府中市、翌4月1日に東京都府中市が市制70周年を迎える。これを契機として、フットサルなどお互いに得意なスポーツによる交流を行なうってはどうか。

A 記念事業は庁内プロジェクトチームによって検討中だが、未来を担う若い世代を中心に両府中市間で交流を深める案も出ている。スポーツに限らず、交流の意義や目的を明確にした上で、お互いに効果的だと判断した事業について実施を検討したい。



市民クラブ
みずた ゆたか
水田 豊

四季の里の管理



Q 四季の里の管理などが観光協会を経て今後民間業者へと委託される。仕事はきちんと引き継がれるのか。

A 観光協会には民間が指定管理者になった後も、観光地域ブランド推進課と連携し、継続してプロモーションや地域住民との連携のパイプ役を担っていただく。指定管理者、観光協会及び市の三者で定期的な協議会を開催する考えだ。公社の職員は観光協会へ移籍し、混乱は生じていない。



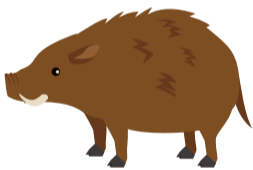
無所属
おかだ たかゆき
岡田 隆行

イノシシなど有害鳥獣対策の強化



Q 電気柵などの補助金申請の簡素化や捕獲後のイノシシの処理の負担を軽減できないか。

A 申請書類の記入は、ていねいにサポートしていきたい。周知の方法もチラシなどを工夫して、よりわかりやすいものにしていく。駆除のために捕獲されたイノシシなどの処分については、捕獲者の方に負担をかけているのも事実。支援策の一つとして、クリーンセンターまでの中間保管施設の設置も考えられる。



無所属
ふじもと ひでのり
藤本 秀範

通学路安全確保対策



Q 通学路上の劣化した停止線や横断歩道、また水路等での転落事故は自治体側への法的責任が求められることも想定される。本市の通学路対策について伺う。

A 平成24年度から関係機関と連携して各小学校と合同点検を実施。歩道や防護柵や路面標示で注意喚起等の対策を進めている。また、劣化した停止線や横断歩道の整備も課題であると認識している。今年度、カーブミラーや転落防止など、通学路の安全対策を計画的に進める。

委員会での審査

総務文教委員会

●議案第66号 過疎地域持続的発展計画の変更について

(原案可決)

Q 旧環境センターの跡地広場整備事業について、今後跡地利用をどのように考えられているのか、また地域住民の皆さんの声をどのように反映していくのか。

A 環境センターは過去、新旧の敷地を利用して建て替えるを行ってきた。昭和58年に、旧環境センターが整備稼働した後、更地となった土地の利

用について、当時、中須町内人会連合会と府中市との協議の中で、地域住民の福祉向上のためのスポーツ広場として利用するように整理されてきた経緯がある。現時点では具体的な方向性はまだ整理出来ていないが、将来環境センターの建て替えを前提として、今後、関係部署、中須町内会連合会や関係団体との協議を進める中で整理していきたい。●議案第72号 府中市文化財保護条例の一部改正について

(原案可決)

Q 国の登録有形文化財である恋しきや翁座などの歴史的建物は、一般の建物よりも耐震性が低い点が大きな問題であり、地震による倒壊の危険など、安全性について危惧している。建築基準法の基準が緩和される改修については、どの部分を最も重要視し

て耐震補強するのか。

A 耐震等の安全対策は公共施設として重要な部分と考えている。建築基準法の適用が除外されても、安全性が除外されるのではなく、現在よりも安全性を高めていくものであり、適用出来ない部分を別の方法でカバーする代替措置による安全性の確保が求められる。改修工事の設計内容はまだ具体的に固まってい

厚生委員会

●議案第67号、地方独立行政法人府中市病院機構第4期中期目標を定めることについて

(原案可決)

Q 病院機構の抜本的な財政状況の改善と府中北市民



恋しき



翁座

病院の病床利用率の改善について伺う。

A 財政改善を図るため、不採算部門の診療を廃止し、採算性の高い医療に転換を検討することは不可能ではないが、公立病院には必要な地域医療を守るといふ役割があり、不採算医療の維持と収支の改善という、相反する課題に取り組むことに公立病院経営の難しさがある。府中北市民病院の病床利用率の低下は、新型コロナウイルス感染症が流行する前から続いていたが、感染拡大以降、特に顕著になった。しかし、常勤医師数や診療科目等は減少しておらず、上下町内の救急搬送のうち、府中北市民病院の受入割合も大きく変わっていない。病床利用率の低下は医療機能によるものではなく、人口減少や受診行動等の変化が影響している可能性がある。地域に必要な医療機能を守るという市の基本方針の中で、経営強化に資する医療機能の検討は必要と考えている。

建設産業委員会

●議案第68号 旧環境センター解体工事請負契約の締結について (原案可決)

Q この落札方式について国土交通省等の資料では、事業そのものの遂行だけではなく、市内企業の育成や先進的技術を蓄積していく目的があると書かれている。この事業の入札を通して、市内企業をどのように導いていくとしているのかを伺う。

A この総合評価落札方式の入札を採用することにより、技術力を評価していくことになり、事業者の技術力向上への意欲を高めることにつながる。また、市内業者を活用することも条件としており、事業者をはじめ、市内業者も含めて業者の育成にも貢献するものと考えている。入札参加要件の中で、市内業者の活用にウエイトを置いた内容で入札を行っている。

決算特別委員会での審査

総務文教分科会

●議案73号、令和4年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について (認定)

Q 放課後ラーニング・サポート事業について、本事業の目的として児童の学力向上を掲げられているが、成

果をどのように捉えているか。

A 開設1年を経た時点での総合的な成果検証には現在至っていないが、昨年度、単元末テストの結果の変化を調査したところ、算数の計算領域における向上が見られ、基礎的な計算の補充に効果が見られたと考えている。学力

の検証については、今後、府中市一斉学力調査等を活用し、継続的に効果を検証していきたいと考えている。また、児童自身が自分の学力、学習意欲の高まりを実感している事例も報告されており、今後も児童の学びに向かう意欲を高めることを重視したい。

Q 上下運動公園の人工芝グラウンドについて、平日の利用拡大や合宿施設などの課題に対し今後どのように取り組まれるのか。

A 平日の利用拡大は、地域、市内の方を中心とした利用促進の取り組みが重要であり、指定管理者や町内会などと連携して活用方法を検討していきたい。合宿施設については、市営下野町団地の一部を改修し、合宿施設としての利用だけでなく、お試し住宅や大学生などの地域活動にかかる短期滞在場所として、11月からの運用開始を目指して準備を進めている。今後、グラウンド使用とあわせた合宿パック、地元のお弁当屋さんの利用パックの打ち出しなど、指定管理者と連携して、利用促進に向けた取り組みを行ってまいりたい。

厚生分科会

Q 「湯が丘病院施設改築事業」についての進捗と完成時期、予算、人材確保について伺う。

A 現在、施設の建て替えについては、コスト軽減を考え、新設とリフォームによ

る検討を進めている。しかし、新型コロナウイルスの影響により、設計業務は、令和6年度中まで、延長せざるを得ない状況となっていて、当初、令和8年度末に完成予定であった建て替え工事も遅れが生じており、全体の完成予定を令和10年度中とせざるを得ない状況となっている。

解体については、来年から行い、令和7年度から、建物の新設あるいは、リフォームに取り組み予定としている。建設費用については、物資が高騰しており、働き方改革や賃金上昇等で人件費なども増えることが見込まれており、想定よりかなり高額になると予想している。人材確保については、岡山大学の医局に何人も足を運び、この春から非常勤の医師2名を確保した。引き続き、岡山大学医局に足を運ぶなど取り組んでいきたいと考えている。

建設産業分科会

Q 農業ビジョンについて、「上下のチャレンジファーム」で2名の新規就農者が着々と事業を展開しているが、今後さらに新規就農者を呼び込むことや事業支援について「どう考えているのか。」

A 府中市独自の支援策として、新規就農者へ就農後2年間、月10万円の生活支援をすることにより早期に経営安定を図るという目的で、現在支援をしている。一方で、物価が高騰し資材費の高止ま

りの状況で、このままでは、市が想定をしている営農モデルが崩れ、就農者自らの借り入れ額が増えてキャッシュフローが悪化することが予想される。

そのため研修生の就農時の支援策として国や県の事業を活用し、さらに、市費も投じてハウス建設や就農に係る準備

に対しての補助を行っているが限界もあり、あらゆる機会を通じて国や県に新たな支援制度の創設を要望している。新規就農者を増やしていくと農業に未来がないと認識をされており、1人ずつでも確実に就農させて、地域の農業が守られるよう頑張りたい。

予算特別委員会での審査

総務文教分科会

●公共施設維持整備基金について

Q 目的と使途、また、実質単年度収支(実質収支)が前年の実質収支を引き、貯金の出し入れを加味したものの()が赤字の中、積み立てる理由を伺う。

A 老朽化による将来的な公衆施設の維持更新経費の増大が財政運営における大きな課題である。令和4年度の決算での実質収支(歳入から歳出と繰越額を引いたもの)は6億円の赤字であり、決算剰余金が生じたため、将来の公共施設の維持更新に備え、積み立てを行うものである。現時点で、使途を特定の施設と決めていないものではないが、本庁舎、教育センター、生涯学習センターなど老朽化が著しい施設もあり、維持修繕に加え、今後の公共施設の建て替えをにらんで、できるだけ多く公共施設の整備基金

厚生分科会

●市立保育所給食調理等業務委託料について

Q 委託料が減額となつている理由と、県立高校などの委託業者が破産申請中で、給食の提供が突然止まってしまった状況に対してどう考えているのかを伺う。

A 広谷保育所、上下保育所3年度からの3年間委託しており、限度額は年額7431万3千円だが、決算では、令和3年度が約5841万円、令和4年度が約5679万円となっている。内訳は、人件費や消耗品等の諸経費が月額

固定であり、昼食やおやつなどの区分ごとによって単価を決め、児童が実際に食べた食数に乗じた額を加算している。債務負担行為の減額は児童数の減少が理由として挙げられる。令和6年度からは年額7080万円で、食材費は物価高騰等を考慮して1食10円から20円程度の値上げを想定しており、安定的な運営のために人件費は常勤雇用を基本に計上している。報道されているような給食の突然の休止は、あつてはならないと認識している。未然に防ぐために、契約金額での実施が困難な場合は、協議の上、見直すことができるようにすることや毎年度、経営状況について確認する等、契約書に明記していきたい。また、材料費や物価高騰を加味し、人件費も適正な運営ができるような人員配置で積算をしていきたい。プロポーザル方式で選定を行い、提出資料として財務諸表2年分を提出してもらい、審査は厳正に行いたい。

建設産業分科会

●省エネ家電買替支援事業について

Q 対象品目をエアコンと冷蔵庫に限定し、太陽光発電設備や蓄電池等を外した理由について伺う。

A 資源エネルギー庁のホームページに記載されている家庭における家電製品の電力消費割合は、1位エアコン、2位冷蔵庫、3位照明となっ

ており、電力消費量は、この上位3品目で5割以上を占めている。今回の事業は、そのうち上位2品目に対し買い替え支援をすることで、省エネ効果をもたらすこと、電気料金による家庭負担を効果的に削減することを目的としたものである。また、照明器具の省エネの取り組みについては、広島県により「ひろしまLED照明器具購入支援キャンペーン」として、8月21日以降、購入したLED照明器具を対象に、キャッシュレスポイント最大1万円分付与される取り組みを実施されている。この二つの取り組みにより、家庭における電力消費量の5割以上を占める家電製品の買い替えを促すことで、中長期的に家庭の電気料金を削減し、家計負担の軽減につなげていくものである。

議案第81号に対する 附帯決議

補正予算中の「保育所給食業務等委託料」の債務負担行為に関して、安定的に給食が提供できるよう、委託先業者の経営状況などを的確に把握する仕組みを構築するとともに、業務の内容を保育現場の状況に即して精査し、より安心で安全な給食の提供に努めることを求める附帯決議を予算特別委員会において全会一致で可決した。

討論

第67号地方独立行政法人府中市病院機構第4期中期目標を定めることについて

反対討論

市民クラブ 水田 豊

医師不足と赤字を理由に地方独立行政法人に府中市の2病院の経営をまかせて12年になる。にもかかわらず、財政面での改善はできていない。毎年の繰入れと建て替え費用を含めて過去120億円以上の税金を投入している。抜本的な改善策を提示しておらず、婦人科医師の招請で出産可能な病院を構想する等あるべき像を鮮明にした目標にすべきであると考え、反対する。

賛成討論

公明党 大本千香子

病院機構の令和4年度決算は、赤字とは言え、経営改善の努力が実を結びつつある内容だった。取り巻く環境は、人口減少、人材確保、物価高騰の不透明感など厳しい4年間が予測される。その上で、病床利用率への一定の指標も明記され、不採算医療の提供も含め、地域に必要な病院を維持するための堅実な目標を立て病院機構に求めるものであり妥当である。

第70号府中市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

反対討論

無所属 岡田 隆行

すでに印鑑登録証明書等の交付に、マイナンバーカード対応の端末機を導入している自治体もあるが、慣れない申請には補助も必要であり、受付の簡素化に十分つながっていない。また、料金設定についても、コンビニでは証明書の発行が150円なのに、市役所では端末機による申請であっても、窓口申請と同じく300円。これは市民に理解されにくい。ていねいな説明が必要である。

賛成討論

創生会 真田 光夫

今回の改正は、庁舎窓口に設置された端末機にマイナンバーカードをかざし必要項目を入力することにより印鑑登録証明書や他の証明書を取得するもの。サポートが必要な方や従来の申請書による対応も行うこととしている。手数料については、市民課により料金体系の違いなど市民が混乱しないよう、今後わかりやすい表示などの改善を行うこととしている。

委員会の活動

総務文教委員会

所管事務調査事項に関連して、意見交換会、行政視察を行いました。

《令和5年度調査項目》

「学力向上について」「協働のまちづくり・地域防災力について」「スポーツ振興について」

●外国語指導助手（ALT）との意見交換会

実施日：令和5年7月4日（火）

今年度市内の全小中学校・義務教育学校に配置されるALTの活動内容や課題、要望など意見交換を行いました。

●行政視察

実施日：令和5年7月11日（火）
13日（木）

調査事項（視察先）

- 地域担当職員制度（愛知県知多市）
- 総合型地域スポーツクラブ（愛知県半田市）
- 学び方改革（愛知県岡崎市）
- 防災・減災（名古屋大学減災連携研究センター・減災館）



●府中市PTA連合会との意見交換会

実施日：令和5年9月27日（水）
子どもたちの安全を守るために、通学路や学校施設の現状や改善要望、各校PTAの状況など、意見交換を行いました。



9月議会での各議員の議決結果

(賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名	加藤吉秀	藤本秀範	岩室雄大	真田光夫	岡田隆行	芝内則明	福田勉	広瀬和彦	森川稔	土井基司	加島広宣	安友正章	田邊稔	水田豊	大本千香子	本谷宏行	三藤毅	棗田澄子	
事件	独法府中市病院機構第4期中期目標を定めることについて	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○
条例	府中市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
条例	府中市文化財保護条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	令和4年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和5年度府中市一般会計補正予算(第4号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	少人数学級と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

第11回 議員と語る会開催

府中市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆さんへ議会情報を発信し、また市民の皆さんから市政に対するご意見をお聴きする広報・広聴活動に取り組んでいます。

今年の「議員と語る会」は市内8会場で行います。どうぞ、お誘いあわせの上、お越しください。



(写真：昨年の様子)

今回の主な内容

①議会からの報告

府中市の主要な事業と議会との関わり及び委員会の活動について報告します。

②小グループで意見交換

地域の課題や市議会に対する質問・意見・要望などをお聞かせいただきます。

日時	会場	出席予定議員(敬称略、順不同) ※変更することがあります
11月7日(火) 19時～20時半	上下町民会館	安友正章、水田豊、田邊稔、加島広宣、岡田隆行、森川稔、福田勉、藤本秀範、岩室雄大
11月8日(水) 19時～20時半	協和公民館	安友正章、水田豊、田邊稔、加島広宣、岡田隆行、森川稔、福田勉、真田光夫、藤本秀範
	TAM 生涯学習センター	加藤吉秀、棗田澄子、大本千香子、三藤毅、本谷宏行、土井基司、広瀬和彦、芝内則明、岩室雄大
11月15日(水) 19時～20時半	Kultピア明郷	安友正章、棗田澄子、水田豊、田邊稔、岡田隆行、森川稔、福田勉、藤本秀範
	リ・フレ 保健福祉総合センター	大本千香子、三藤毅、本谷宏行、加島広宣、土井基司、広瀬和彦、芝内則明、真田光夫、岩室雄大
11月16日(木) 19時～20時半	出口公民館	加藤吉秀、棗田澄子、水田豊、田邊稔、三藤毅、本谷宏行、岡田隆行、真田光夫、岩室雄大
	Kultピア栗生	安友正章、大本千香子、土井基司、加島広宣、広瀬和彦、森川稔、福田勉、芝内則明、藤本秀範
11月19日(日) 14時～15時半	府中市役所 第一委員会室	加藤吉秀、棗田澄子、大本千香子、三藤毅、本谷宏行、土井基司、広瀬和彦、芝内則明、真田光夫

■お問い合わせは、府中市議会事務局までお願いいたします。(TEL 43-7172)

議会の動き(7～9月)

- 7月3日 広報広聴特別委員会(議会だより編集会議)
- 7月4日 総務文教委員会(ALTとの意見交換会)
- 7月11～13日 総務文教委員会(行政視察(愛知県知多市、半田市、岡崎市、名古屋大学減災館))
- 建設産業委員会(行政視察(埼玉県宮代町、千葉県君津市、東京都豊島区))
- 7月12日 厚生委員会(市担当者との意見交換会 ほか)
- 7月19日 議会運営委員会(6月定例会の振り返り ほか)
- 広報広聴特別委員会(議員と語る会 企画協議)
- 7月21日 市政参画促進特別委員会(決算審査サイクル 協議)
- 7月24日 総務文教委員会(教育委員会担当者と意見交換会)
- 7月25日 建設産業委員会(執行部からの事業説明、視察のまとめ)
- 7月26日 総務文教委員会(行政視察、意見交換会のまとめ)
- 7月26～28日 厚生委員会(行政視察(愛知県大府市、兵庫県明石市、相生市))
- 8月2日 市政参画促進特別委員会(決算資料、フリースピーチ、政策サポーター 協議)
- 8月3日 広報広聴特別委員会(議員と語る会、高校生と語る会、行政視察 協議)
- 8月4日 議会運営委員会(定例会の1か月前協議)
- 8月7日 賑わいづくり特別委員会(執行部から調査事項に対する回答、説明)
- 8月18日 厚生委員会(行政視察(尾道市)の調整、管内視察(府中市病院機構) 協議)
- 市政参画促進特別委員会(中間報告に向けたまとめ)
- 8月21日 厚生委員会(行政視察(尾道市、認定こども園))
- 8月24日 広報広聴特別委員会(議員と語る会、高校生と語る会、行政視察 調整協議)
- 8月28日 総務文教委員会(意見交換会のまとめ)
- 8月29日 議会運営委員会(定例会の4日前議運)
- 9月1日 厚生委員会(管内視察(府中市病院機構))
- 9月4～22日 議会9月定例会(議案25件と意見書案1件の審議)
- 9月12日 決算特別委員会(決算総括質疑(決算議案の調査))
- 9月14日 総務文教委員会(付託議案の審査、決算特別委員会分科会)
- 9月15日 厚生委員会(付託議案の審査、決算特別委員会分科会)
- 9月19日 建設産業委員会(付託議案の審査、決算特別委員会分科会)
- 9月22日 広報広聴特別委員会(議会だより編集会議(誌面構成) ほか)
- 9月25日 市政参画促進特別委員会(議員と語る会での報告、各委員会への依頼 協議)
- 議会運営委員会(9月定例会の振り返り)
- 9月26日 賑わいづくり特別委員会(提言に向けての協議 ほか)
- 9月27日 建設産業委員会(管内視察(出口川湧水処理場))
- 総務文教委員会(府中市PTA連合会と意見交換会)
- 9月28日 建設産業委員会(農業委員会と意見交換会)
- 9月29日 広報広聴特別委員会(議会だより編集会議(原稿確認))

視察の受入れ

- 7月5日 兵庫県稲美(いなみ)町(小中学生の匿名相談アプリの運用、児童生徒の心のケア)
- 7月10日 三次市(コミュニティースクール(栗生小学校))
- 8月2日 香川県丸亀(まるがめ)市(ドローンネイティブシティ(ドローンが当たり前前に活躍するまち)プロジェクト)
- 8月3日 福島県南相馬(みなみそうま)市(府中市版ふるさとワーキングホリデー)
- 8月23日 兵庫県西脇(にしわき)市(小中一貫教育)

編集後記

府中市は来年3月末に市制施行70周年を迎えます。記念事業については現在検討中ですが、今議会では議員から多くの提言がなされ、特に東京都府中市との交流が取り上げられました。他のまちとの交流によって刺激を受け、まちづくりの新たなアイデアが浮かぶこともありそうです。議員は各委員会や会派の視察でいろいろなまちの施策にふれる機会があります。そこで得た知見やアイデアを提言などによって、職員と情報共有していきたいと思っています。

(土井)

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしています。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212